

男女共同参画標語コンクールを実施しました

市と市男女共同参画推進委員会が主催で、第4回男女共同参画標語コンクールを開催しました。小学生の部55点、中学生の部14点、一般の部42点、合計111点の作品が寄せられました。たくさんのご応募をありがとうございました。

審査の結果、次のとおり入選作品が決定し、表彰式では受賞者の皆さんに賞状と副賞が授与されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

入選作品は、今後の男女共同参画の啓発活動などに幅広く活用します。



男女共同参画推進委員会



◀ 第4回男女共同参画標語コンクール受賞者の皆さん



▲ 標語コンクールの結果や表彰式の様子は、こちらからもご覧になれます

第143回

小学生の部

【最優秀賞】

『家事 育児 みんなで協力することで 楽しさ うれしさ 倍になる』 城田 大和(秋間小学校5年)

【優秀賞】

『変えていこう 男女とわず 活やくの時代へ』 新井 莉乃(東横野小学校5年)

『パパ料理 ママは洗濯 ぼく掃除 家族で分担 笑顔あふれる日曜日』 鈴木 稜人(後閑小学校3年)

『掃除、洗濯、家事、育児…誰の仕事？ 僕できる！私もできる！一人一人できることをやっいていこう！！』

鈴木 歩果(原市小学校6年)

『男の子裁縫、女の子サッカー、どれをやってもみんなハッピー』 恩幣 可帆(安中小学校3年)

中学生の部

【最優秀賞】

『家庭から発信 ジェンダーギャップゼロの社会へ』 磯野 太志(第二中学校1年)

【優秀賞】

『父は夕食作り、母はオンラインワーク、そんな家族で成り立つ我が家』 恩幣 志帆(第一中学校1年)

『男子も女子も掃除をし、食器も運ぶよ楽しくね 大人になっても変わらずいよう 楽しくね』

土屋 晴幹(第二中学校2年)

一般の部

【最優秀賞】

『男でも 女でも 社会で輝く職業に 性差なし』 市川 敬美

【優秀賞】

『私からです。男女共同参画の意識改革は』 田中 文夫

『男らしさ？女らしさ？「らしさ」にとらわれ失う個性 社会は待ってる あなたらしさ』 武井 琉聖

『家事分担 めんどくさいから始まった やらず嫌いと感じたよ』 武井 栄

『はずそう“男だから”“女だから”という枠』 武者 寿子

問合せ▶困地域創造課市民協働係(☎内線1027)